

2021 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | |
|---------|----------------|-----------------|------|-----------|---------------|
| 学 科 | 診療放射線技師学科(昼間部) | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
| 科 目 名 | 診療画像検査学実習 | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 45 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年次 | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 合同校舎エック線実習室 |
| 担 当 教 員 | 安藤英次、泉谷信行 | 実務経験と その関連資格 | | | |

《授業科目における学習内容》

診療価値の高い画像を提供するX線撮影をするため、撮影部位ごとのポジショニングを理解する。
患者対応として検査説明から入室から退室まで患者介助などを取得する。
模擬人体を用いてX線撮影法を実習する。

《成績評価の方法と基準》

出席評価、受講態度(私語厳禁)、事前学習の取組状況、課題レポート内容などを総合的に評価する。

- ①素点(課題レポート) 60%
- ②出席評価点 20%
- ③平常点(授業へ取組む姿勢) 20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考図書 「X線撮影技術学」 編:安藤英次
「図解上肢撮影法」 編:高倉義典 「図解下肢撮影法」 編:高倉義典
「図解骨盤股関節撮影法」 編:高倉義典

《授業外における学習方法》

実習する撮影部位を使用して当日は実技を行うため、前日までに手順を十分に理解しておくこと。
また、実習時間内に作成出来なかったレポートは期日までに提出出来るよう、作成を行う。

《履修に当たっての留意点》

撮影体位や肢位から臨床画像へ有用性をの評価へ導く。
学内実習は病院実習に向けての演習も兼ねているため、注意事項を熟読し、規則に準ずること。

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------------|-------------|-------------------------------|-------------|-----------------------|
| 第1回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | X線撮影装置と撮影台の基本的な構造と特徴を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | X線撮影装置と撮影台の装置の取り扱い。 | | |
| 第2回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 撮影体位や肢位を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 患者にとって安全で再現性のある撮影肢位を理解する。 | | |
| 第3回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | X線撮影台への安全な移動法を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 患者の移動では介護技術方法を活用し安全な移動法を理解する。 | | |
| 第4回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭部のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | X線撮影の基準線・基準面・基準点や解剖学的断面 | | |
| 第5回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭部のX線撮影におけるポジショニングを理解する。。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 正面撮影と側面撮影の撮影体位 | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|-------------|---------------------|
| 第6回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭部のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像によるX線解剖図作成 ・X線画像から3次元的投影図を作成 | | |
| 第7回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部のX線撮影の撮影法や基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・胸部の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第8回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部のX線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位(臥位、座位、立位、側臥位) ・撮影肢位(上肢の下垂位と挙上位) | | |
| 第9回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸部のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像によるX線解剖図作成 ・3次元的投影図を作成 | | |
| 第10回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腹部のX線撮影における基本的な体位や基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・腹部の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第11回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腹部のX線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位(臥位、座位、立位、側臥位) ・撮影肢位(上肢の下垂位と挙上位) | | |
| 第12回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腹部のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像によるX線解剖図作成 ・3次元的投影図を作成 | | |
| 第13回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩関節(上肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・肩の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第14回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩関節(上肢)X線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位、撮影肢位(回旋位、挙上位) | | |
| 第15回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩関節(上肢)X線撮影におけるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成 | | |

2021 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | |
|------|----------------|-----------------|------|-----------|---------------|
| 学 科 | 診療放射線技師学科(昼間部) | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
| 科目名 | 診療画像検査学実習 | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 45 (2) 時間(単位) |
| 対象学年 | 3年次 | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 合同校舎エック線実習室 |
| 担当教員 | 安藤英次、泉谷信行 | 実務経験と その関連資格 | | | |

《授業科目における学習内容》

診療価値の高い画像を提供するX線撮影をするため、撮影部位ごとのポジショニングを理解する。
患者対応として検査説明から入室から退室まで患者介助などを取得する。
模擬人体を用いてX線撮影法を実習する。

《成績評価の方法と基準》

出席評価、受講態度(私語厳禁)、事前学習の取組状況、課題レポート内容などを総合的に評価する。

- ①素点(課題レポート) 60%
- ②出席評価点 20%
- ③平常点(授業へ取組む姿勢) 20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考図書 「X線撮影技術学」 編:安藤英次
「図解上肢撮影法」 編:高倉義典 「図解下肢撮影法」 編:高倉義典
「図解骨盤股関節撮影法」 編:高倉義典

《授業外における学習方法》

実習する撮影部位を使用して当日は実技を行うため、前日までに手順を十分に理解しておくこと。
また、実習時間内に作成出来なかったレポートは期日までに提出出来るよう、作成を行う。

《履修に当たっての留意点》

撮影体位や肢位から臨床画像へ有用性をの評価へ導く。
学内実習は病院実習に向けての演習も兼ねているため、注意事項を熟読し、規則に準ずること。

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|--------------|-------------|--|-------------|---------------------|
| 第16回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肘関節(上肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第17回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肘関節(上肢)X線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位、撮影肢位(回旋位、屈曲位) | | |
| 第18回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肘関節(上肢)X線撮影におけるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成 | | |
| 第19回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 手関節(上肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第20回 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 手関節(上肢)X線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位、撮影肢位(回旋位、屈曲位) | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|---|-------------|---------------------|
| 第21回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 手関節(上肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第22回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 股関節(下肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第23回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 股関節(下肢)X線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 ・撮影体位、撮影肢位(外転、内転、屈曲位) | | |
| 第24回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 股関節(下肢)X線撮影におけるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 <レポート作成> ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成 | | |
| 第25回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 膝関節(下肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第26回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 膝関節(下肢)X線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 ・撮影体位(臥位、自然立位)、撮影肢位(プラトー位、屈曲位) | | |
| 第27回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 膝関節(下肢)X線撮影におけるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 <レポート作成> ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成 | | |
| 第28回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 足部・足関節(下肢)X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第29回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 足部・足関節(下肢)X線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 ・撮影体位(臥位、自然立位) ・撮影肢位(Mortise AP view、足関節の中間位) | | |
| 第30回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 足部・足関節(下肢)X線撮影におけるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 <レポート作成> ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成 | | |

2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 診療放射線技師学科(昼間部) | | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---|----------------|-----------------|--|-------------|-----------------------|---------------------|
| 科目名 | 診療画像検査学実習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 45 (2) 時間(単位) |
| 対象学年 | 3年次 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 合同校舎エック線実習室 |
| 担当教員 | 安藤英次、泉谷信行 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 診療価値の高い画像を提供するX線撮影をするため、撮影部位ごとのポジショニングを理解する。 患者対応として検査説明から入室から退室まで患者介助などを取得する。 模擬人体を用いてX線撮影法を実習する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 出席評価、受講態度(私語厳禁)、事前学習の取組状況、課題レポート内容などを総合的に評価する。 ①素点(課題レポート) 60% ②出席評価点 20% ③平常点(授業へ取組む姿勢) 20% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 参考図書 「X線撮影技術学」 編:安藤英次 「図解上肢撮影法」 編:高倉義典 「図解下肢撮影法」 編:高倉義典 「図解骨盤股関節撮影法」 編:高倉義典 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 実習する撮影部位を使用して当日は実技を行うため、前日までに手順を十分に理解しておくこと。 また、実習時間内に作成出来なかったレポートは期日までに提出出来るよう、作成を行う。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 撮影体位や肢位から臨床画像へ有用性をの評価へ導く。 学内実習は病院実習に向けての演習も兼ねているため、注意事項を熟読し、規則に準ずること。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第31回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 全下肢長尺X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像とアライメント評価 ・関節の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | | |
| 第32回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 全下肢長尺X線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位(自然立位、片脚立位) ・撮影肢位(自然肢位、片脚立位肢位) | | | |
| 第33回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 全下肢長尺X線撮影におけるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・下肢のアライメント評価した投影図を作成 | | | |
| 第34回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 頸椎(脊椎)X線撮影の撮影法や基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・脊椎の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | | |
| 第35回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 頸椎(脊椎)X線撮影におけるポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位(臥位、座位、自然立位) ・撮影肢位(肩の下垂位、屈曲位) | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|---|-------------|---------------------|
| 第36回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 頸椎(脊椎)X線撮影におけるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像によるX線解剖図作成 ・椎体の3次元的投影図と脊椎アライメント図を作成 | | |
| 第37回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 胸椎(脊椎)X線撮影の撮影法や基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・脊椎の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第38回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 胸椎(脊椎)X線撮影におけるポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位(臥位、座位、自然立位) ・撮影肢位(肩の下垂位、側屈位) | | |
| 第39回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 胸椎(脊椎)X線撮影のX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像によるX線解剖図作成 ・脊椎の3次元的投影図とアライメント評価図を作成 | | |
| 第40回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 腰椎(脊椎)X線撮影の撮影法や基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像の読影 ・脊椎の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第41回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 腰椎(脊椎)X線撮影におけるポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位(臥位、座位、自然立位) ・撮影肢位(前後屈位、側屈位) | | |
| 第42回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 腰椎(脊椎)X線撮影のX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像によるX線解剖図作成 ・脊椎の3次元的投影図とアライメント評価図を作成 | | |
| 第43回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 全脊柱長尺X線撮影の撮影法や撮影基準線を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・代表的な疾患につながる臨床画像とアライメント評価 ・脊柱の撮影基準線、X線中心点や入射角 | | |
| 第44回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 全脊柱長尺X線撮影のポジショニングを理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | ・撮影体位(自然立位、臥位) ・撮影肢位(自然肢位、片脚立位肢位) | | |
| 第45回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 全脊柱長尺X線撮影におけるX線画像を理解する。 | 教科書 配布資料 | 実習終了時に示す課題を実施しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | <レポート作成> ・X線画像をトレースしX線解剖図作成 ・全脊柱のアライメント評価した投影図を作成 | | |